

たんちよう

JAくしろ丹頂
広報誌

vol.137
2019.3

くしろ丹頂

根釧牛乳をPR 美味しく飲んでね!!



くしろ冬まつりにて 釧路地区農協青年部協議会
(右前 当JA青年部 對木賢雅部長、右から2番目 伊深祐樹さん)

CONTENTS

- 営農計画樹立協議終了 _____ 1
- 鶴居村タンチョウフェスティバル _____ 2
- 釧路冬まつりで根釧牛乳をPR _____ 3
- 白糖町4Hクラブ優秀賞受賞
ジュニアホルスタインクラブよつ葉工場見学会 — 4
- 海外酪農視察研修報告 _____ 5~8
- 乳質改善PJ情報局 _____ 9
- 普及センターだより _____ 10
- JA北海道大会パネルディスカッション — 11~12
- JAグループ通信 _____ 13
- JA共済からのお知らせ _____ 14
- 「タオルを送る運動」メッセージ _____ 15
- ~ちょっと一息~あたまの体操「ナンプレ」 — 16
- 理事会報告/生乳生産実績/管内役職員ホウリング大会 — 17



当JAチーム奮闘!! 景品を手に
管内JA役職員ボウリング大会

平成31年度 営農計画樹立協議 終了

～ 目標達成に向かって責任ある計画の遂行を!! ～

1月15日から1月末にかけ、4地区で平成31年度営農計画樹立協議を実施



白糠支所



音別支所

酪農・畜産情勢は、TPP11、日EU・EPA、日米貿易協定交渉等、本道農業を取り巻く情勢は大きな変革期を迎えております。

生乳生産につきましては、「北海道生乳生産基盤・安定供給強化対策」がスタートします。昨年は、6月以降の低温長雨等による粗飼料品質の低下や9月に発生した北海道胆振東部地震ブランクアウトの影響もあり一時的な乳量低下がみられました。しかし、農家個々の飼養管理の充実や規模拡大等による乳牛増頭も相まって、生乳生産は前年を上回って推移しております。

今後、30年産粗飼料の品質低下等による生乳生産への影響等が懸念されますが、新年度におかれましても組合員の皆様方が家族・社員総意のもと、目標達成に向け責任ある計画の遂行により実り多い1年となりますようご期待致します。

生乳生産の集計

(単位：t%)

	平成30年実績 (クミカン年度)	戸数	平成31年計画 (クミカン年度)	戸数	対比	30年度見込み (4～3月)	31年度見込み (4～3月)	対比
鶴居	37,169.9	38	38,287.7	38	103.0%	37,659.2	38,526.3	102.3%
幌呂	26,369.1	32	26,221.7	31	99.4%	26,160.1	26,311.3	100.6%
白糠	20,311.6	43	20,629.5	41	101.6%	20,206.1	20,788.3	102.9%
音別	17,440.5	23	16,896.9	23	96.9%	17,171.5	17,118.0	99.7%
JA計	101,291.1	136	102,035.8	133	100.7%	101,196.9	102,743.9	101.5%



本所



幌呂支所

飼養頭数の集計

		経産牛頭数	育成牛頭数	乳用牛頭数	馬	和牛
鶴居	31年度期首	4,250	3,209	7,459	1	158
	30年度期首	4,147	3,108	7,255	1	159
	差	103	101	204	0	△1
幌呂	31年度期首	3,035	2,375	5,410	19	174
	30年度期首	3,051	2,299	5,350	19	165
	差	△16	76	60	0	9
白糠	31年度期首	2,492	1,896	4,388	42	142
	30年度期首	2,572	1,810	4,382	37	145
	差	△80	86	6	5	△3
音別	31年度期首	2,040	1,540	3,580	25	191
	30年度期首	2,015	1,490	3,505	24	129
	差	25	50	75	1	62
合計	31年度期首	11,817	9,020	20,837	87	665
	30年度期首	11,785	8,707	20,492	81	598
	差	32	313	345	6	67



青年部鶴居支部「根釧牛乳」のおいしさをPR!!

～ 鶴居村タンチョウフェスティバル ～

2月10日、鶴居村総合センター前で、第32回 鶴居村タンチョウフェスティバルが開催されました。

多くの来場者で賑わう中、JA青年部鶴居支部は、根釧牛乳の無料試飲を実施し、松下雅幸支部長は、「貿易協定、市場開放等経済情勢がめまぐるしく変化する中、今私達が出来る事として、地元産の牛乳を飲んでもらいたい一心で活動しております。

今年も鶴居村商工会青年部と合同で根釧牛乳をPRし、来場された



ご来場の皆様へ牛乳をどうぞ～!!



あつあつの豚汁が好評です!!

方々の反応も上々です」と話しており、また、JA女性部幌呂支部は、「豚汁」を販売、武藤和江支部長は、「部員達で協力して作った豚汁は、とってもおいしい、体もあつたまるとお客様からも大変好評です。今後も協力しながら活動して参りたい」と思いを語って頂きました。会場では、タンチョウ耐寒競技、タンチョウウルトラクイズ等多くのイベントが行なわれる中、大変盛況のうちに終了しました。



耐寒競技後は冷えた足を命の湯へ



タンチョウウルトラクイズ つるぼーも参加!



タンチョウ耐寒競技! 皆さんなりきってます!

釧路の牛乳をモーツと飲もう!!

～ くしろ冬まつりで「根釧牛乳」の消費拡大運動 ～



多くの皆様から、牛乳を一杯下さいの声!!

2月2、3日の2日間、釧路市観光国際交流センターで「くしろ冬まつり」が開催され、釧路地区農協青年部協議会は、根釧牛乳の更なるファン獲得のためPRをし、あわせてJAジャンプダウンロードキャンペーン等を行いました。

当JA青年部の對木賢雅部長は、「今まで継続実施してきた消費拡大運動が、根釧牛乳のおいしさを伝え



る活動として、自分達の思いが消費者に対し少しずつ伝わっている事を実感しております。550万人サポーターづくりとして、スマホアプリ《JAジャンプ》の普及活動も継続して参りたい」と意気込みを語って頂きました。

会場内では、氷彫刻やイルミネーション、そして多くのイベントが行なわれ、まつりを盛り上げました。



スマホアプリ「JAジャンプ」推進中!!



牛着ぐるみと子供のじゃんけん大会



寒風神輿がまつりを盛り上げます!



冰雪すべり台は子供に人気

白糠町4Hクラブが優秀賞を受賞!!

～ 全国青年農業者会議（畜産経営部門）「後産停滞の対処方法」が高評価 ～



発表する對木隼憲さん



後列左から、普及センター高橋さん、鹿野さん、佐藤さん、普及センター喜多村さん
前列左から、田口さん、中河さん、對木さん、細谷さん

1月29～30日の2日間、札幌市内で平成30年度北海道青年農業者会議が開催され、白糠町4Hクラブが発表した「後産停滞」試される残された後産の処置」が「畜産経営」部門で優秀賞を受賞しました。「畜産経営」部門のプロジェクト発表には6団体が出場し、對木隼憲さんがクラブを代表して出場しました。

「後産停滞の牛が出た場合どう対処すべきか」を、検討項目①後産停滞したorしていないかによる、繁殖成績への影響②後産を引っ張るor放置による、繁殖成績への影響③後産停滞の多いor少ない農家の違いによる、原因解明についてクラブ員により調査しました。

その結果、
①後産停滞は繁殖成績に悪影響
②後産は引っ張るとれそうなら、取った方が良いかも（※無理に取らない!!）
③後産停滞対策は乾乳期のストレス低減が重要なポイントとし、他に後産停滞が発生する要因がないか、今後もクラブ員で協力しながら調査検討していく方針です。（内容は今月の普及センターだよりも掲載しております。）



工場内を見学し理解を深めました。

1月11日、釧路西部ジュニアホルスタインクラブは、親子14名が参加し、よつ葉十勝工場（音更町）で見学会を実施しました。
よつ葉乳業の歴史や酪農について学んだ他、普段店頭に並んでいる牛乳、パターの製造ラインを見学させて頂き、子供たちは目を輝かせておりました。

ジュニアホルスタインクラブ
よつ葉工場を見学



第47回 カナダ ホルスタイン酪農と ロイヤル・ウインター・フェア視察

海外酪農視察研修 報告

白糠支所 家畜改良課 家畜改良係長
松原清美



平成30年11月5日から11日までの7日間に渡り、ドイツライマン社と北海道ホルスタイン農協の合同企画『カナダホルスタイン酪農とロイヤル・ウインター・フェア視察旅行』に参加しましたので報告致します。

この研修は第47回と長きに渡り続けられている研修でありまして、今回の視察はケベック世界遺産の町、ケベック州牧場2軒、オンタリオ州世界最大の農業祭であるロイヤル・ウインター・フェアを視察しました。

参加者は、団長の武隈昭博氏(根室市酪農家)をはじめ、北海道からは酪農家9名、JA授精師3名、北海道ホルスタイン農協1名、ドイツライマン社1名、別海高校5名、道外からは、家畜改良事業団3

名、日本ホルスタイン農協1名、そして添乗員1名を含めた総勢24名でした。

11月6日 ケベック州
【世界遺産の町旧市街プチ・シャンプラン通り 視察】



(プチ・シャンプラン通り)

400年以上の歴史を持つ城壁の町旧市街は、石造りの城壁や中世の城門、石畳の道を走る馬車など、まるでヨーロッパ中世の街並みの様でした。北米最古の繁華街と言われており、カフェやレストラン、ギャラリー等が軒を連ねショッピングも楽しめます。

世界遺産の町旧市街を体験さ

せて頂き、良い思い出に残すことが出来ました。

【タイデイ牧場 視察】



(左側の方が牧場主のティラー氏)

タイデイ牧場と後述するジェイコブス牧場は、今は共同経営をしており、どちらも共進会に力を入れている牧場であります。

タイデイ牧場は、7年前に今の牧場を購入。総飼養頭数220頭、うち搾乳頭数100頭、個体平均乳量10,000kg、平均乳脂率4.6%、平均乳蛋白質率3.7%。特に乳脂



率の高さに優れていました。カナダではクオータ制度（牛乳供給数量制限）が導入されており、乳脂率が高いと高値で取引されるところで、当牧場では体型バランスを考え健康面を重視し、乳量より脂肪成分を高くする種雄牛を交配。『脂肪成分が高いと高く売れ、簡単に稼げるから！』との事でした。精液は主にユニクスを交配し、ヤングサイアーは一切使用せず、成績の出ている種雄牛だけを使用していました。又、脂肪成分を高くするため、ホルスタインにジャージー種を交配したF1も数頭生産していました。

【ジェイコブス牧場 視察】

ジェイコブス牧場も共進会に力を入れており、アメリカのエキスポやカナダのロイヤル・ウインター・フェアでグランドチャンピオンに輝くな

ど、数多くの賞を得ている牧場です。牛舎事務所内には、今までの活躍を物語る数多くの盾や旗が並べられています。



(牧場主のヤン氏、沢山の盾や旗が飾られている)

1951年に祖父がオランダから入植して今の牧場を買い取り、現在はタイデイ牧場と共同経営をしています。総

飼養頭数700頭、うち搾乳頭数225頭、個体平均乳量11,500kg、平均乳脂率4.5%、平均乳蛋白質率3.3%と、

11月7日 オンタリオ州

【サミットホルム牧場 視察】

チェコスロバキアから移住してきた両親が、1947年

能力面でも優れた牛群でした。本人は『今はシヨウ・タ イプより、繁殖性を高めて経済バランスのいい牛群を目指し、ビジネスに力を入れている！』と言っており、肢蹄の疾病予防を心がけ、削蹄は年4回（1頭1,800円）実施している。使用精液は、ユニクス・ロートラスト、他はヤングサイアーを授精。年間個体販売を500頭以上して、採卵においても週に4〜5頭採卵しており、年間400卵以上販売し、その内200卵近くを日本に向けて販売しているそうです。個体販売・受精卵販売等、シヨウカウ牧場ならではのビジネスをしています。



(牧場主カール・ルイス氏と視察団一行)

に乳用牛15頭を飼養した牧場から始まり、1970年に現経営主カール・ルイス氏が親から買い取り、1989年に息子が加わり、従業員2名、搾乳パート11名で経営しています。カール・ルイス氏は（どこかで聞いた名前ですが…）70代半ばと思われませんが、とても元気で身のこなしも軽くよくしゃべり、沢山の質問に一つ一つ丁寧に答え、とても

生活しやすい良い待遇を与えており、従業員の家族も呼んで毎週レストランに連れて行く等、様々なサービスをしているそうです。そうする事で、牧場へのやる気が出て経営に
つながると話していました。
日本では難しい面もあります
が、牛だけではなく人間への
配慮も大切な事だと感心させ
られました。

フリーストール牛舎で、総
飼養頭数1,000頭、うち
搾乳頭数490頭、ミルク
ン
グパーラー16頭ダブルで3回
搾り。個体平均乳量13,0
00kg、平均乳脂率3.8%、平
均乳蛋白質率3.1%、1頭当
り43kgでした。320haの耕
作地を所有しており、牧草は
年4回まで収穫。カスタム
ワーカー（プロ）に畑作業全
てを委託し、当牧場では一切
農機具は持つておらず、機



(鳥が停まれない梁のない牛舎)

の導入や修理費が削減でき、
畑への作業時間がなくなる事
で、牛の観察・管理が出来る
との事でした。又、初産平均
分娩23か月令、初産平均乳量
12,000kg。牛群全頭体
格審査を受けていて、EXが
14頭、88点以上が160頭お
り、牛群の54%が5産以上(平
均4.2産)で牛を長持ちさせて
いる牛群でした。その背景に
は、毎週30頭〜40頭削減して
おり、フリーストール牛舎の

ベッドには全て砂を敷いてい
ました。ベッドを砂にする事
で、乳房炎や四肢の事故が10
分の1に減り、ストレスも軽
減され乳量も増えたとの事
でした。

フリーストール牛舎は20年
前に建設し、カナダのモデル
となった牛舎です。中央が低
くなっていて、尿が流れて行
く構造になっていました。一
番驚いたのが、日本の建築基
準では考えられない梁のない
構造で、鳥が停まって糞を落
とさない様に工夫されていま
した。カナダは地中が岩盤で
出来ていて地震が来ないとの
事で、梁がなくても問題ない
そうです。

授精は3〜4人で自家授精
をしており、分娩後60日で授
精。繁殖の悪い牛には、アン
ガスなど肉用種を交配。カナ
ダのF1平均価格は1万8千

円との事で、日本のF1平均
価格は20万円以上するよと伝
えると、カール・ルイス氏は
凄く驚いた表情で「日本に輸
出して売りたい！」と笑い答
えてくれました。

11月8日〜9日

【ナイアガラの滝視察後、ロ
イヤル・ウインター・フェア
へ】

ナイアガラの滝では、滝壺
まで船で行くツアーに参加し
ました。ナイアガラの滝を間
近で見ると、目を疑う程の雄
大な滝は、凄まじい水しぶき
を上げながら幻想的な虹を創
り、大自然の力というものを
体感させてくれました。

【ロイヤル・ウインター・フェ
ア 視察】

ロイヤル・ウインター・フェ
アは東京ドーム4つ分程の会
場で、屋内農業関係では世界
最大の規模を誇り、シヨウ会



場・家畜舎・物販・展示・食育ブース等に分けられ、1日では回り切れない程の広さでした。会場は10日間行われており、シヨウにおいてはホルスタインのシヨウだけではなく、馬車競技やロデオ、羊や犬等のシヨウもあります。主に馬のシヨウがメインとなっていますが、次いでホルスタインのシヨウにおいても、各地区のシヨウを勝ち上がって来た出品牛達は、どれもこれも素晴らしい牛達でした。又、農業祭であるため、農産物や畜産物の品評会も行われていました。1日目は、未経産3部までのシヨウを特設会場の小リングで行っており、2日目は普段はアイスホッケー会場となる、リコー・コロシアルムで開催されました。出品頭数は、未経産クラス285頭、経産クラス166頭でした。

シヨウ自体は様々な演出がされており、最高位を決定する際には、会場の照明が落とされ、ファンファーレが流れ、スポットライトが当たるなど、ただ出品牛の序列を決めるだけではなく、会場全体が楽しめる工夫をされています。上位牛になると乳用強健性が素晴らしく、特に拳一つ入る程の骨間で広い肋の開張に驚きました。乳房においても、容積があり乳動脈が鮮明で、前後乳房の付着の強さ、後乳房の幅・高さ、乳頭の正確性、そして何より乳房底面の高さに優れていました。その様な中でグランドチャンピオンに選ばれたのは、ジェイコブス牧場繁殖及び所有牛のジェイコブス ウィンドブルック アイモです。そして、リザーブグランドチャンピオンもジェイコブス牧場繁殖及

び所有牛で、ジェイコブスローソリティー ロアナが選ばれました。どちらのチャンピオンも同じ牧場が獲得したのは、過去何十年となかったそうで、その様な歴史に残る瞬間に立ち会えて、私も大変嬉しく思いました。



(グランドチャンピオンになり、喜ぶヤン氏と子供達)

海外研修を終えて

今回研修に参加し、カナダ酪農の実情を目の当たりにし、直接話を聞いたことは非常に刺激になりました。又、

世界最大のロイヤル・ウィンター・フェアを視察できた事、そして参加者の方々と情報交換をし、様々な事を共有できた事を本当に嬉しく思います。

この度の視察研修に参加させて頂きましたJA、また企画して頂きました2社と、研修に参加されました皆様、そして関係者の皆様に深くお礼申し上げます。



(ナイアガラ瀑布にて)

乳質改善プロジェクト

乳質改善PJ情報局

牛床を汚しつづけるため「

引き続き「乳頭周辺から乳房炎原因菌を減らす」について考えてみましょう。

乳頭や乳房、さらに牛体を汚してしましやすい牛床の構造や繫留法などを前回お示しましたが、これらは改造することで日々の管理は大幅に楽になります。各農場での具体的な改造については、JAや普及センターなどに助言を求めることも有益でしょう。

次にカウトレーナやネックレールによる牛床の汚れ防止策を解説しましょう。

カウトレーナの目的は、繫留された位置でそのまま背中を丸めて糞尿をすると牛床を汚しやすいことから、半歩、乳牛を後方へと移動させることにあります。こうすることで糞尿の大半はバウンクリーナへと落ち、牛床が汚れづらくなります。決し

て背中を丸めることを阻害する道具ではありません。背中を真っ直ぐ

にしたまま糞尿をさせるこ

とは、乳牛にかなりの不愉快を強い



ることに

なります。

カウトレーナの位置は、き甲部（ほぼ前足部分の背中）と背中を丸めた時に最も高くなる背中との位置との間の中央部からやや後方あたりです。またその高さは、通常の背中との位置から10cmほど上です。ここに位置すれば、普段の採食や寝起き、ちよつとしたグルーミングなどの行動では不要な電気ショックを受けるとはありません。そしてそのままの位置で背中を丸めるとピリツとくるので、乳牛は半歩下がることを学習することになります。

真空ポンプの動作とともに搾乳が始まり、カウトレーナの電

気が切れたことを認識した乳牛が一斉に糞尿を始める農場がありますが、これはカウトレーナの位置が正しくなく、日々不要な電気ショックを受けているぞとの乳牛の必死のメッセージです。

乳牛の大きさに応じて上下の位置をびたりと決めることで、カウトレーナは余計なストレス

を乳牛に与えることとなく、美しい牛床・牛体の維持に有効に作用します。



ネックレールも同様、乳牛はストールから立ち上がった際に糞尿をする機会が多いのですが、そのままの位置では牛床を汚しやすいので、すぐに後ろへと下がってもらうためにあります。

このため以前は起き上がるとともに牛体に触れる位置(高さ)が推奨されたこともありますが、別にわざわざ背中をネックレールにぶち当てなくても、ぼつこの存在を乳牛が意識するだけで、ほぼ自然に下がってくれます。

それにネックレールの位置の低さは、乳牛がストールで横臥しようとする意欲を削ぎ、牛床での横臥率を減少させてしま

す。できうれば放牧地での寝起きの行動と同様のレベルで、乳牛が横臥しようとする際、また起立しようとする際、何の躊躇も覚えないフリーストールが牛床の理想となります。



※情報提供は釧路農協連より



後産停滞の対処方法
試される後産の処置

なかなか落ちない後産は「自然に落ちるまで放置」、「引っ張って落とす方が良い」というように異なる意見を耳にします。今回は、どちらの対処方法が良いのかについて、白糠町4Hクラブ（以下、白糠4HC）がプロジェクト活動で調査した結果をご紹介します。

1 後産停滞とは

後産停滞の定義は、文献によって様々ですが、「12時間以内に後産が出ない状態」を言います。後産停滞した牛の多くは、子宮内膜炎を併発し、受胎率の低下などを招いてしまう可能性もあります（写真1）。



写真1 後産停滞は子宮内膜炎を招く可能性がある

そのため、乾乳牛の栄養や分娩環境に注意し、まずは後産停滞にさせないことが大切です。それでも後産停滞の牛を発見した際は、後産の処置が必要です。

2 調査方法

クラブ員6名が行った調査方法は、分娩後の牛の状況を記録し、「後産を手で引っ張った牛」と「そのまま様子をみた牛」の初回授精日数と空胎日数を比較しました。後産を引っ張る力加減は、重さにするとして1〜2kg（500mlペットボトル2・3本分）ほどです（写真2）。



写真2 後産は無理に引っ張らない

3 調査結果と考察

後産停滞が発生した3農場の結果を記録しました。その結果「後産を手で引っ張った牛」の方が、初回授精日数、空胎日数ともに短くなりました（表1）。さらに、これらの繁殖成績が良くなる分、治療費も減少することがわかりました。

表1 後産の処置別における集計結果

	引っ張る	放置
初回授精日数	78	87
空胎日数	115	143
治療費(円/頭)	28,943	35,331

※A農場の各10頭の平均値を比較
治療費はNOSAIカルテより

繁殖成績が良く、治療費も低減!!

結果から、後産を手で引っ張って落とす方が、子宮の回復が早く、初回授精も早まり、最終的には空胎日数も短くなったと考えられました。

ただし、子宮を傷つけてしまう可能性があるので、無理やり引っ張ってはいけません。また、後産停滞した牛が発熱、食欲不振を呈している場合は、一度獣医師に見てもらいましょう。

4 後産停滞の原因を調査

特に後産停滞の多かったA農場と少なかったB農場を比べてみると、乾乳牛の飼養環境に違いがありました。

A農場は、1頭当たりの飼養面積が6.1㎡だったのに対し、B農場は51㎡と、飼養面積に余裕がありました（表2）。このことから、後産停滞の原因の一つは、過密によるストレスだと考えられました。

表2 農場別の飼養面積

	A農場	B農場
飼養面積(m ²)	183	510
飼養頭数(頭)	30	10
1頭あたり面積(m ² /頭)	6.1	51.0
推奨面積(m ² /頭)	9.0 ~ 10.0	

1頭あたり飼養面積が狭い!!

5 最後に(4HC員より)

白糠4HCは今回の調査結果を全道青年農業者会議で発表し、優秀賞を受賞しました（写真3）。今後は、後産停滞が発生しなかった農場において、その要因を調査する予定です。他にも、初産分娩月齢の短縮に向けた活動も行っています。これからも白糠4HCは、精力的に活動していきます！



写真3 全道青年農業者会議にて優秀賞を受賞しました!

第29回 J A北海道大会(平成30年11月13日)
パネルディスカッション
 テーマ「多様化する組合員ニーズに応える
 新たな協同組合の価値創造」

J A北海道大会当日に開催したパネルディスカッションの内容を2回に分けてご紹介します。



宮入 隆氏

北海道大学 教授

テーマは、議案第2号に係る協同組合の価値づくりです。難しいテーマですが、前回大会と2回の実践フォーラムを通じ、各地で様々な取り組みを開始していると思います。これらを総括し、新たなステップに繋げるための段階として、J Aの持つ多様な役割を再確認する場とさせて頂きたい。

あわせて、今後の実践のヒントをパネリストの皆さんから頂き、持ち帰ってもらえればありがたい。

行友 弥氏

㈱農林中金総合研究所 顧問 特任研究員

元々は新聞社で農林水産業の取材に携わり、今は東日本大震災、特に福島原発事故で被災した地域の取材に行っています。取材を通じ、協同組合の意義について考えさせられる機会も度々あります。



青竹 豊氏

(社)日本協同組合連携機構 (JCA) 常務理事

JCAは4月に立ち上がりました。J A、生協、森林組合、漁協など様々な協同組合の連携を広げるために設立。私は4月まで日本生協連におりました。協同組合の連携を、より強めることについて、知っている範囲で事例報告をさせて頂きたい。

小野寺 俊幸氏

J A北海道中央会副会長 J Aところ 会長理事

全道J Aの代表であり、一生産者として、組合員のニーズにどう応えていくか。最も難しい問題について、考えていきたい。パネリストの皆さんの話の中で、一つでもヒントを得たいと思います。



宮入 教授

まず、『組合員との関係強化』について、報告事例も踏まえて討論します。生協と農協の共通の課題も多くあると思います。多様な組合員ニーズへの対応として、組合員の自主性を保ちながら、新たな参加の形をどうしていくか。組合員の想いをくみ取り、新たな活動に

【事例報告】
 ①生協における組合員との関係強化
 ②持続可能な開発目標(SDGs)と協同組合間連携

変え、組合員参加の多様な形を実現させるといふ示唆に富む報告でした。

行友顧問 事例報告のキーワードは「元気」「楽しく」「多様」「地域に」でしょう。生協の活動をそういう方向に高めていくことが大切だと感じました。地域が抱える課題は人口減少・少子高齢化などを背景に複雑化・多様化しています。協同組合も規模が大きくなると、サービスを一方的に供給することになりがちですが、組合員自らの参加で課題を解決する流れを作ることが大事です。J Aは農政の実務を担ってきた歴史もあり、組合員が受け身になりやすく、自ら能動的に組合運動に参加する意識が薄れているのかも知れません。生協も同様の問題を苦勞して乗り越えようと思われています。

宮入教授 受動から能動へ切り替える難しさ。想いをくみ取って、参加スタイルを多様にする。生協も実現までにご苦勞があったと思います。

青竹常務 各生協で、参加をどのように広げていくか、大きな悩みを抱えながら、日々格闘している。J Aの方が、農業者にとってなくてはならない存在であり、先輩だと思えます。お互いに交流しながら、時代にあった参加の仕方を磨いていきたいです。

宮入教授 J Aも生協も、組合員活動をどう支援するかが基本。組合員の多様化の中で、今までと違い、世代間のギャップなどが課題にあれば伺いたい。

小野寺副会長 J Aも70年の歴史を経た中、若い人たちに、どうやってJ Aに結集してもらうか。農協運動の中で組合員が何を求めているか。若い人たちと農協運営者の目線、考えのギャップが大きく出てきており、そこに農協運動の難しさがあります。



地震で被災したJAの施設に、若い人が結集して、被災したコンテナや馬鈴薯などを、自分たちの力で片づけ、1週間かかる作業が2日間で終わった。

若い人たちが農協に結集すると、すごい力となって働く。若い担い手の力の素晴らしさ。普段は、口にしなくても、何かあればJAに結集して、仲間や友を助ける自分のJAという想いに感銘を受けた。

宮入教授 組合員との関係強化と言うと、いつもは自然に存在しているが、何かあったときにJAに入っていて良かった、組合員で良かったと感じることも大きいのは。福島の取材でのお話などあれば。

行友顧問 住民が長期間避難した地域では農業が空白状態になりましたが、飯館村などでは最初にお年寄りが戻り、最近若者が移住して就農するケースも出てきています。



そういう地域は人の繋がりが濃密で支えあいの土壌があります。社会関係資本（人間関係）が豊かな地域は、災害からの回復力が強いのではないのでしょうか。協同組合は、それを体現する組織であり、大事だと思います。

宮入教授 『組合員との関係強化』について、組合員の自主性をどう協同活動に活かすか。JAでも、組合員の想いを、上手く活かして事業にしていくことが、ニーズの多様化の中で求められると思う。

生活スタイルも世代も異なる人たちが、JAに参加している。そういう声をどう聞き取るか。具体的な方法として、アンケートもあるが、声をどう聞き取って形にするか。生協の事例につ

いて、もう一度、お聞かせいただきたい。
青竹常務 生協の職員にとっては、生活や子育てへの組合員の想いを聞き取る力が大変重要です。宅配担当職員は、週に1度、組合員と顔を合わせ、いろんな質問や悩みを聞く、生協をやめると言われる場合もありますが、その背景を聞き取ることが大事。また、近畿の生協では、職員研修で、JAにお願いをし、一定の期間、畑や牛舎・鶏舎など、生産現場を体験させてもらっています。

本日の大会議案で、若いJA職員に組合員の会議への参加を位置づけています。現場・組合員の所に行くことが重要であり、その中で、聞き取る力や相手の想いを受け入れる力が育ちます。このことが、人と人が作る協同組合の大きな特徴だと思います。

宮入教授 聞き取った内容を情報交換する場所はあるのでしょうか。

青竹常務 すぐに対応できるものは対応し、重要な商品クレームなどは、組織対応に引き上げることもあります。

クレームやお問い合わせ・要望を登録し、組織全体あるいは役員会・理事会で状況をつかむためのデータベース作りを進めている生協も増えています。

宮入教授 担当者も変わる中、データベースにクレーム等も含めて、声を溜めることが、新たな取り組みに繋がるといってお話。なるほどと思います。



多様な組合員ニーズという意味で、北海道の組合員数の80%に及ぶ准組合員との関係づくりをどうするか。准組合員との関係づくりについて教えて頂きたい。

小野寺副会長 前回大会で、550万人サポート一づくりを掲げ、准組合員をはじめ、消費者の皆さんと、食と農で繋がることを目指して活動をしています。

農業者もある意味で消費者だと考えますと、多様な消費者があり、生協からも、色々と学んでいかないとけませんし、これからは、生協を含めて色々な方々と手を結び、横の連携を広くして、農業だけの目線で見るとはなく、多様な人たちの意見を農協が取り入れられるかに尽きると思います。

北海道の世帯数の60%以上が、生協に加入しています。生協における組合活動の素晴らしさを、我々も認識し、組合員との関係強化に向けて、目線を移していかないと考えられています。

宮入教授 准組合員調査を通じて、准組合員はJA事業利用に対して正組合員に近い考え方を持っていると感じています。自ら准組合員になっっている方々の声を、聞き取っていくことも大事だと思います。

行友顧問 JA横浜では、准組合員向けの農業体験講座が発展して正組合員の農業を手伝う援農ボランティアの取り組みとなり、正組合員と准組合員の関係を作る契機にもなっています。

北海道は、准組合員の割合が高く、農協がないと地域が持たない部分もあると聞きます。地域の様々な課題に対応するうえでも、正と准の垣根を低くして、協力しあう関係作りが必要だと思います。

宮入教授 JA事業でライフライン・インフラを維持している地域が数多く存在するのも事実で、あつてはならないが、准組合員の利用が規制されると、JA事業も影響を受けます。正と准の支え合いを、目に見える形で作っていく必要があると思います。

J Aグループ通信

J Aグループの連合会・中央会の活動内容を紹介します。

J A北海道大会決議事項の実践やその時々のトピックスなど、組合員の皆様に定期的にお伝えします。

各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

J A北海道中央会

J Aグループ北海道は、児童養護施設からの卒業を控えた高校生を対象とした調理実習体験「おとなの食育」を札幌市内で開催しました。



この取り組みは、自立支援活動として、J Aグループ北海道と興正こども家庭支援センターが共催しており、今回で6回目の開催となります。

高校卒業後、一人暮らしを始める生徒が多く、施設から巣立った後も栄養バランスを考えた食生活を送ってもらい、健康に過ごしてほしいという趣旨で実施しています。高校生10名が参加し、身体に必要な栄養素や食材の消費・賞味期限など食の知識について学んだ後は、調理実習に挑戦。グループに分かれて役割分担をし、協力して楽しく料理する姿が見られました。



J A北海道信連

J Aバンク北海道は、地域貢献活動の一環として、野球観戦を通じて子供達に夢や希望を持ってもらうことを目的に、「フアイターズ・ドリームシート」に協賛し、今シーズンは福祉団体を通じて1,200名余りの子供達を招待しました。

「初めて野球の試合を見て楽しかったです。」「声がかかるほど応援しました。」等の感想をいただき、多くの子供達に楽しんでいただきました。



ホクレン

J Aとホクレンは労働力確保が深刻になりつつある生産現場と、障がい者の社会参加を希求する福祉側とのマッチングを目指す農福連携研修会を昨年12月、札幌市内のホクレンビルで開きました。大学研究者や実際に障がい者を雇用している生産者・J Aの他、北海道庁職員ら70人余りが参加。グループディスカッションでは農福連携の実現に向けた課題と、今後の可能性などについて積極的な意見交換が行われました。



J A共済連北海道

J A共済では、『こども共済』資料請求キャンペーンを実施しております。Webで「こども共済」の資料をご請求いただいた方に、『J A共済オリジナル アンパンマンお食事エプロン』をプレゼントしております。キャンペーンは平成31年3月20日(水)までで、先着60,000名様となっております。

この機会にJ A共済のホームページにアクセスいただければすようお待ちしております！



J A北海道厚生連

組合員ならびに地域住民の皆様との生命と健康を守るため、本会事業の積極的な啓蒙推進を図ることを目的として、広報誌「すまいる」を発行しております。

年3回発行しており、様々な医療・健康情報を発信しております。

ホームページにもバックナンバーを掲載しておりますので、是非ご一読ください。





JAの
自動車共済
加入者向け

突然の「事故」や「故障」など
緊急時に心強いスマホアプリ!!

JA共済 くるまのミカタ

お車のトラブル時にアプリを利用すれば受付窓口へのスムーズな連絡が可能です。

1 レッカー・ロードサービスの要請 受付窓口 JA共済サポートセンター

- 1 GPS機能で位置情報を送信することができます!
 - 2 トラブル状況の画像を送信することができます!
 - 3 お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済サポートセンターに通知されません。
- ➡ 必要な情報をJA共済サポートセンターに送信でき、迅速にレッカー・ロードサービスを受けられます!



2 事故受付 受付窓口 JA共済事故受付センター

- 1 GPS機能で位置情報を送信することができます!
 - 2 お車情報を自動送信します! ※ご利用時に事前登録がされていないと、お車情報はJA共済事故受付センターに通知されません。
- ➡ 必要な情報をJA共済事故受付センターに送信でき、迅速な事故受付が可能となります。
- ※JA共済事故受付センターにトラブル状況の画像を送信することはできません。

事故や故障が発生した際には、JA共済サポートセンターまたはJA共済事故受付センターの専門スタッフがいつでも(24時間365日)対応いたします。ぜひ、お持ちのスマートフォンにアプリをご準備ください。

※アプリご利用時の通信料は、ご利用者さまのご負担となります。

アプリのダウンロード

無料でダウンロード
できます。

＜アプリダウンロードはコチラから＞



Download on the
App Store



GET IT ON
Google Play

くるまのミカタ

検索

※iPhone、iPad、App Storeは米国及び他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
※「Android」「Google Play」はGoogle Inc.の商標または登録商標です。

■ ご注意事項

交通事情、気象状況等により、対応業者の到着に時間がかかる場合またはサービスのご提供ができない場合があります。ご利用者さまのご契約内容・トラブル状況によっては、サービスの一部または全部がご提供できない場合があります。ご利用者さまのお使いの機種および設定によっては、位置情報を必要とするサービスをご利用いただけません。アプリで提供されるGPSによる測位結果の位置情報は、利用環境やGPS衛星の電波状況により、位置が表示されない場合または実際の位置と誤差が生じる場合があります。詳細はアプリ内の「JA共済くるまのミカタ」利用規約をご確認ください。

※このチラシは「JA共済くるまのミカタ」の概要を説明したものです。詳細につきましては、お近くのJAにお問い合わせください。
※スマートフォン向けアプリのため、フィーチャーフォンの場合はご利用いただけません。また、お使いのスマートフォンの機種・設定等によってはご利用いただけません。
※本アプリは、JA共済の自動車共済に加入されている方向けに無料提供するものです。
※このチラシに記載している画面はイメージです。実際の画像と異なる場合があります。



「タオルを送る運動」メッセージ

パルシステム生活協同組合連合会「こんせん72牛乳」利用者の方々より、酪農生産者の皆様へ贈られたタオルとともに、お礼のメッセージを頂いております。ここではその一部を数回に分けてご紹介させていただきます。



メッセージを贈ろう

牛乳製品にアレルギーのある息子が負荷検査の結果、少しづつ牛乳の量を増やして飲めることになり、「ういん」粉乳とこんせんくんを毎朝飲むことに決めました。これからも、少しづつですがタオルを贈ります。

福島 郡山 センター (3) 枚のタオルを贈ります

メッセージを贈ろう

生き物相手の仕事で、心からの愛情がほしいと出来たいと思います。おいしい牛乳を作っただけ、私達へ届く事がほんとうに嬉しい感謝です。

福島 センター () 枚のタオルを贈ります

メッセージを贈ろう

美味しい牛乳を届けていただきありがとうございます！
おまけ、糸織糸田の口味わいで、大好きです(笑)

神奈川 藤沢 センター (1) 枚のタオルを贈ります

メッセージを贈ろう

大きくなったら牛のお医者さんになりたいです。タオル使ってください。

群馬 東毛 センター (3) 枚のタオルを贈ります

メッセージを贈ろう

牛さん、生産者の皆さん、いつもおいしい牛乳をありがとうございます。自分が送ったタオルが牛さん達のお役に立て嬉しいです。これからもおいしい牛乳を楽しみにしています。

群馬 高崎 センター (3) 枚のタオルを贈ります

メッセージを贈ろう

小さな頃から生協の牛乳で育った娘が社会人になりました。からだの一部、娘の一部を支えてもらってきました。食に関心を持ち食の仕事です。生産者の方も娘も身体と大切にこれからも頑張りたいです。いつもありがとうございます。

コア山梨 一宮 センター (3) 枚のタオルを贈ります

メッセージを贈ろう

毎日、おいしい牛乳をありがとうございます。子育て、子育ては、牛乳が大好き。これからは、お気に入ります。これからも大変だと思、子育て頑張ります。

福島 いわき センター (3) 枚のタオルを贈ります

メッセージを贈ろう

わたしは「こんせん72」をココアにして飲むのが大好きです。これからも、おいしい牛乳をどうぞとじてください。

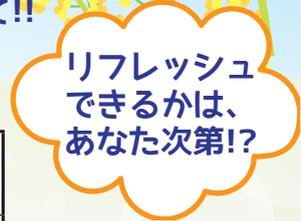
山梨 小4 (10) 枚のタオルを贈ります



ナンプレにチャレンジ!!

～ちょっと一息～ あたまの体操のコ～ナ～

※問題を解くカギは下に書いてるよ! 気軽にやってみて!!



※今回の答えは次月号に掲載するよっ!!

8				3		6	9	
6	3		2				5	1
1	7	9	6	4	5		3	2
	8	6	4		2			7
3	5		9				4	
2	4		1				8	5
	6		5	2		1		8
				1	4			3
	1	8	3	7		4		

ナンプレのルールは、3つあります。
右の【1】【2】【3】です。



タテ・ヨコ・ブロックの3種類についてのルールが課されているわけですね。

一応、この3つを覚えてしまえばナンプレに挑戦ができます。
ただ、ナンプレは列・ブロックともに9マスしかありません。
なので、ルール【1】【2】【3】は右表の【A】【B】【C】のように言い換えることができます。

★ ナンプレのルール ★

- 【1】 どのタテ一列にも1～9の数字が1個ずつ入る。
- 【2】 どのヨコ一列にも1～9の数字が1個ずつ入る。
- 【3】 区切られた3×3のどのブロックにも1～9の数字が1個ずつ入る。

ルールを言いかえると

- 【A】 どのタテ一列にも**同じ数字は入らない**。
- 【B】 どのヨコ一列にも**同じ数字は入らない**。
- 【C】 区切られた3×3のどのブロックにも**同じ数字は入らない**。

ナンプレを解く場合、ルール【A】【B】【C】を適用することがほとんどです。
だから、ルール【A】【B】【C】を中心に覚えるといいでしょう。

要は、「**タテ・ヨコ・ブロックには同じ数字は入らないんだ**」と覚えとこう、ってことですね。



理 事 会 報 告

1月臨時理事会 平成31年1月11日(金)

付議事項

- 議案第1号 役員推薦会議運営要領の一部変更について
- 議案第2号 役員選任実施要領の一部変更について

議案第3号 役員の任期満了に伴う役員選任実施事項について

1月定例理事会 平成31年1月31日(木)

報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 12月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 平成30年度決算見込みについて
6. 事務受託契約締結組織の無通告監査結果報告について
7. 個人情報保護計画にもとづく実施状況の監査結果報告について

付議事項

- 議案第1号 営農振興資金の貸付について
- 議案第2号 固定資産の取得について

その他協議事項

1. 組合員の農業に係る現況照会について
2. 第3次JA中期計画策定(機構改革含む)に係る地区説明会の開催について
3. 当JA会長理事 瀧澤義一氏の宇都宮賞受賞に係る祝賀会の開催について
4. 当面の業務日程について

■平成30年度	生乳生産実績(1月)			
	月計乳量(kg)	1月前年比(%)	累計乳量(kg)	累計前年比(%)
JAくしろ丹頂	8,623,453.2	101.6	85,132,683.8	102.9
鶴居地区	3,280,867.8	108.1	31,675,186.9	106.7
幌呂地区	2,225,588.8	98.6	21,952,458.5	99.7
白糠地区	1,694,837.2	97.5	16,918,088.1	99.9
音別地区	1,422,159.4	97.9	14,586,950.3	103.5
管内計	44,548,638.5	98.8	442,036,514.8	100.0
(前年度管内計)	45,099,368.2		442,085,837.1	



ボウリング終了後は焼肉を囲みつつ
役職員の親睦を深めました。

1月19日、釧路パレスボウルで、管内JA役職員ボウリング大会が開催され、管内6JA・各連合会の役職員約140名が参加し、チームに分かれゲームが行なわれました。
当JAは、個人(男子)の部 準優勝 石渡正志、(女子)3位 不藤佑希菜
団体の部3位(位下・山本将平・不藤)、ブービー賞(田中正則・西塚・八木)が表彰されました。

釧路管内JA役職員
ボウリング大会開催

編集後記 EDITOR'S NOTE

□雪解けが進み、春を思わせる陽気が昼間でも感じられるようになってまいりました。公道では、路面が乾燥し車を運転しやすい状況にもなっておりますが、一瞬の気のゆるみ、不注意が重大事故につながります。毎週のように北海道及び釧路警察署から各事業所、農協宛てにFAXでくる交通事故情報には、全道各地区における事故発生報告が絶えません。車だけでなく歩行者にも気を配り、ゆずりあい、ゆとりある運転を心掛けたいものです。